

災害の概況

(2019年上半期)



鳥取県西部広域行政管理組合
消防局

目 次

(ページ数)

災害概況のまとめ	1
I 火災概況	
1 火災件数について	3
図 I - 1 火災件数の推移	3
2 火災種別件数について	3
図 I - 2 火災種別ごと件数の状況	3
3 月別火災件数について	4
図 I - 3 月別の火災件数	4
4 市町村別火災件数について	4
図 I - 4 市町村別火災件数の状況	4
5 損害額について	5
6 火災の原因について	5
図 I - 5 出火原因別グラフ	5
7 死者・負傷者について	5
図 I - 6 市町村別死傷者状況	5
別表 I - 1 月別火災発生状況	6
II 救急概況	
1 救急出動状況、救急搬送状況	7
図 II - 1 事故種別救急出動状況	7
図 II - 2 事故種別救急搬送状況	7
図 II - 3 過去5年間の救急推移	8
2 市町村別救急活動状況	8
図 II - 4 市町村別救急活動状況	8
3 傷病程度別搬送状況	9
図 II - 5 傷病程度別搬送状況	9
4 年齢別搬送状況	9
図 II - 6 年齢別搬送状況	9
5 署所別救急活動状況	10
図 II - 7 署所別救急活動状況	10
6 月別救急活動状況	10
図 II - 8 月別救急活動状況	10
7 現場到着所要時間、収容所要時間	11
図 II - 9 現場到着所要時間	11
図 II - 10 収容所要時間	11
8 応急手当実施状況	12
図 II - 11 応急手当実施状況	12
9 高度救命処置状況	12
図 II - 12 高度救命処置件数	12
10 医師引継ぎ時の状況	13
図 II - 13 医師引き継ぎ時の状況	13

Ⅲ	救助概況	14
1	事故種別救助出動状況	14
	図Ⅲ－1 事故種別救助出動状況	14
2	事故種別救助活動状況	14
	図Ⅲ－2 事故種別救助活動状況	14
3	事故種別救助人員状況	15
	図Ⅲ－3 事故種別救助人員状況	15
4	管轄別救助活動状況	15
	図Ⅲ－4 管轄別救助活動状況	15
5	市町村別救助活動状況	16
	図Ⅲ－5 市町村別救助活動状況	16
6	月別救助活動状況	16
	図Ⅲ－6 月別救助活動状況	16
Ⅳ	119番着信概況	17
1	着信件数の概況	17
	表Ⅳ－1 着信件数内訳	17
2	月別の119番着信状況	18
	表Ⅳ－2 月別119番着信状況	18
3	電話種別による119番着信状況	18
	表Ⅳ－3 電話種別による119番着信件数の推移	18
	表Ⅳ－4 電話種別による通報状況	19
4	携帯電話からの着信状況	19
	表Ⅳ－5 携帯電話からの着信状況	19
	表Ⅳ－6 携帯電話の消防機関別転送状況	20
5	時間帯別119番通報の着信状況	20
	図Ⅳ－1 時間帯別着信状況	20

注:本文中の各割合(%)については、端数処理のため合計が100%にならない場合があります。

災害概況のまとめ

I 火災概況

(1) 火災概況

本年上半期の火災件数は65件で、前年同期比6件の増加となっています。

火災種別としては「建物火災」が8件減少しており、「その他火災」が10件増加し「車両火災」が2件増加しています。

「建物火災」の減少により「焼損面積」も前年同期の2,617㎡から1,500㎡と約1,100㎡の減少となっています。

焼損面積の減少に伴い「建物火災」の損害額も、59,085(千円)と前年同期の84,273(千円)から約25,000(千円)の減少となっています。

火災原因については、前年同様「たき火」が19件と最も多く、次いで「その他」11件、「放火の疑い」9件の順となっています。

火災による死者は前年と同様に2人の死者が発生し、いずれも高齢者となっています。負傷者は前年同期と比較して1人減少の8人となっています。

(2) 出火予防対策

高齢化が進み死者・負傷者ともさらに増加していく恐れがあります。

引続き、地域住民の防火意識の高揚を図ると共に、住宅用火災警報器設置促進及び維持管理を含めた広報活動を実施し、住宅防火対策を推進し続けることが重要と考えます。

II 救急概況

救急出動件数は5,613件で前年上半期に比べ85件の減少、また救急搬送人員は5,211人で117人の減少となっています。

事故種別で見ますと、急病が全体の6割以上を占め、次いで一般負傷、転院搬送、交通事故の順となっています。

年齢別で見ますと、65歳以上の高齢者が搬送される割合が年々増加しています。今後、更に高齢者が占める割合が増加することが予測されます。

心肺停止傷病者に対する応急手当の割合は前年度より2%減少しました。

万一の時、早期の応急手当は必要ですが、一番大切なことは病気予防です。

心肺停止に陥る前に早期の医療機関受診が重要です。

III 救助概況

救助出動件数は89件で前年上半期に比べ18件減少、救助活動件数は67件で前年に比べ11件減少しています。

救助人員は46人で前年に比べ15人減少し、事故種別で見ますと、交通事故が最も多く23人となっています。

全国的に風水害、地震などの災害規模が大規模・長期化することに伴い、県内の相互応援、緊急消防援助隊の活動、医療、防災機関及び行政などとの迅速な連携活動、連携強化が必要不可欠となっています。

IV 119番着信概況

119番の総着信件数は7,462件で昨年同期より249件少なくなっています。事故種別ごとに着信件数を見ますと、火災通報98件で43件減、救急通報5,239件で100件減、救助通報42件で7件減、警戒通報は193件で8件増、問合せ403件で90件減、間違い352件で44件減、悪戯94件で1件増、訓練等1,041件で16件増でした。総着信件数から問い合わせ、間違い、悪戯、訓練などを除く災害通報は5,572件で昨年上半期に比べると132件減でした。

電話種別ごとに着信件数を見ますと、固定・IP電話4,297件で380件減、携帯電話3,165件で131件増でした。総着信件数のうち携帯電話による通報が占める割合は約42%ですが、屋外で発生または発見されることの多い災害では、火災が67%、救助が76%、警戒が56%を占めており、統合型位置情報通知システムを活用して、災害場所の早期情報特定を取得するよう努めています。

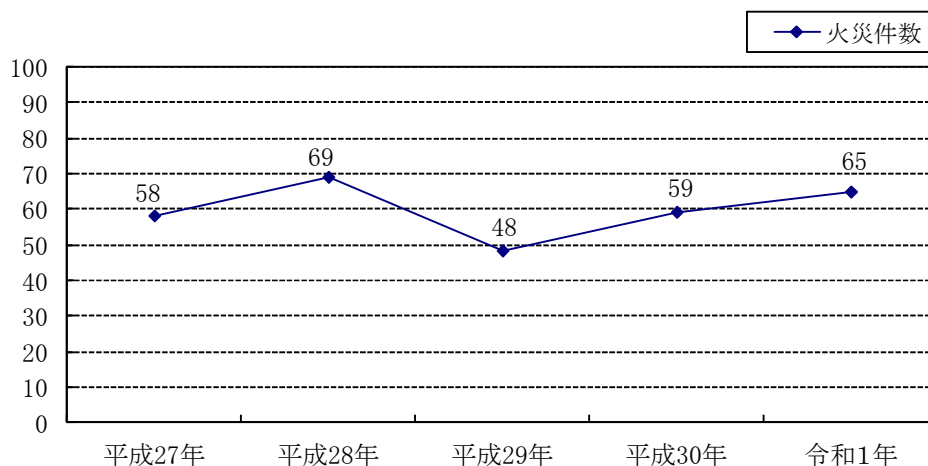
I 火災概況

(2019年 1月～6月)

1 火災件数について

2019年上半期の火災件数は65件で、前年上半期と比較して6件(10%)増加しています。(図I-1参照)

図I-1 火災件数の推移



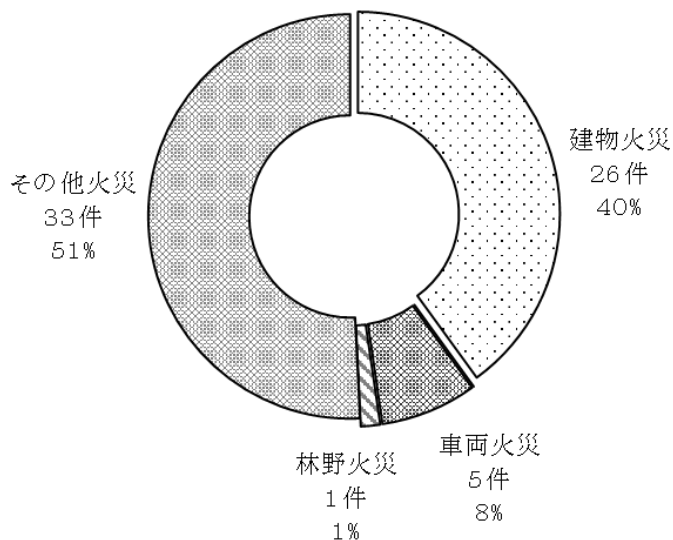
年 別	27年	28年	29年	30年	元年
火災件数	58件	69件	48件	59件	65件

2 火災種別件数について

種別の構成比率をみますと、その他火災(枯れ草火災など)が33件(51%)と最も多く、次いで、建物火災が26件(40%)、車両火災5件(8%)、林野火災1件(1%)となっています。

前年に比べ建物火災は8件、林野火災は1件少なくなっており、車両火災は4件、その他火災は11件多くなっています。(図I-2参照)

図I-2 火災種別ごと件数の状況

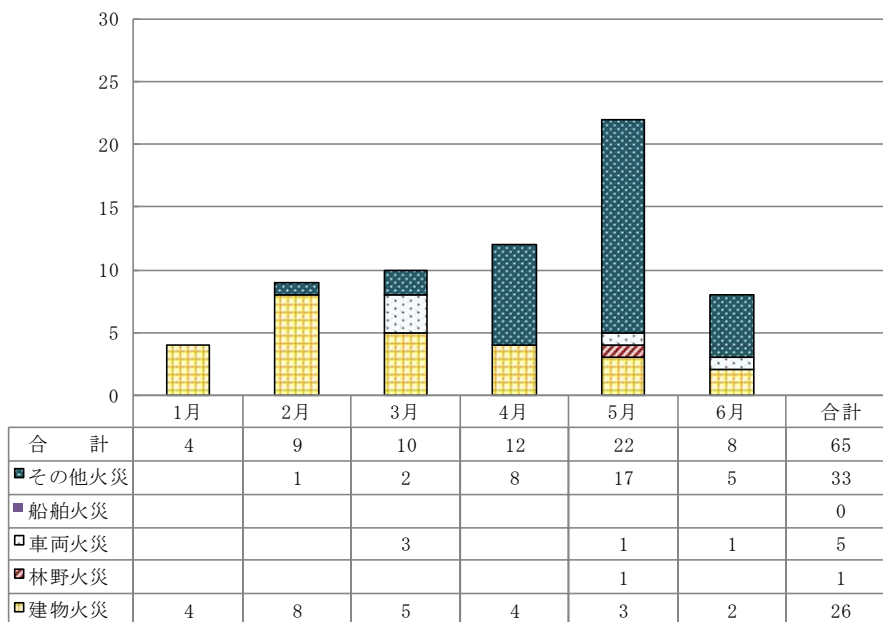


3 月別火災件数について

月別の火災件数をみますと、5月が22件（34%）で最も多く、次いで4月が12件（18%）、3月が10件（15%）となっています。

火災種別ごとの月別の建物火災の状況は、2月が最も多く8件（31%）、次いで3月が5件（19%）、1月と4月に各4件（各15%）発生しています。その他火災については、5月に17件（52%）と最も多く発生しています。（図I-3参照）

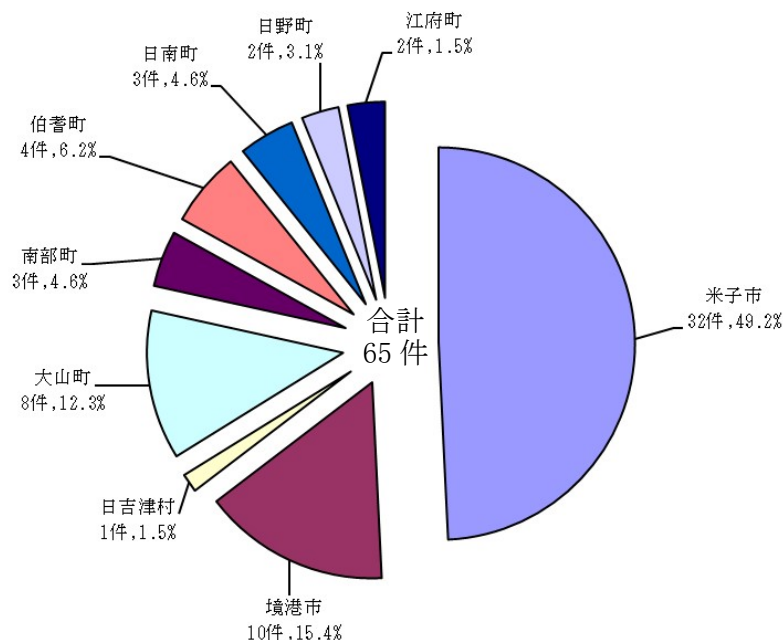
図 I - 3 月別の火災件数



4 市町村別火災件数について

市町村別の火災件数をみますと、米子市が32件、次いで境港市が10件、大山町が8件となっています。（図I-4参照）

図 I - 4 市町村別火災件数の状況



5 損害額について

損害額は、約5,958万円で、前年比30%の減少となっています。

火災種別ごとの損害額は、建物火災が全体の95%を占めています。

月別の損害額は、3月(約2,083万円)が最も多く全体の35%となっています。次いで1月(約1,412万円)の24%となっています。

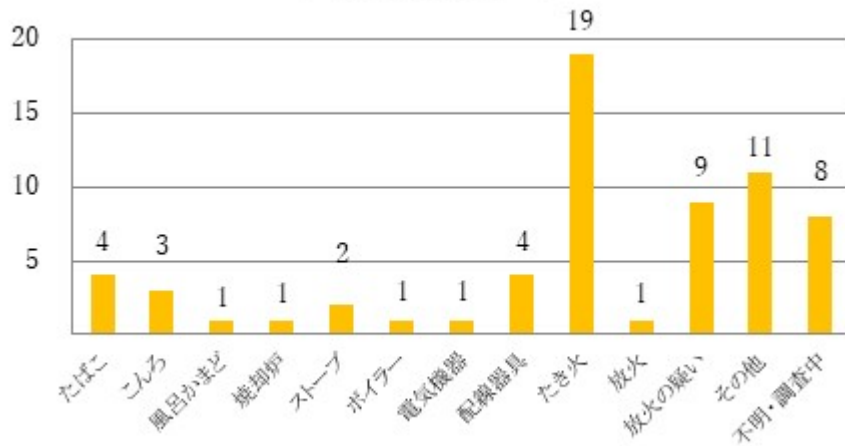
(別表I参照)

6 火災の原因について

原因別では「たき火」が19件(29%)、「その他」11件(17%)、「放火の疑い」9件(14%)となっています。

(図I-5参照)

図I-5 出火原因別グラフ

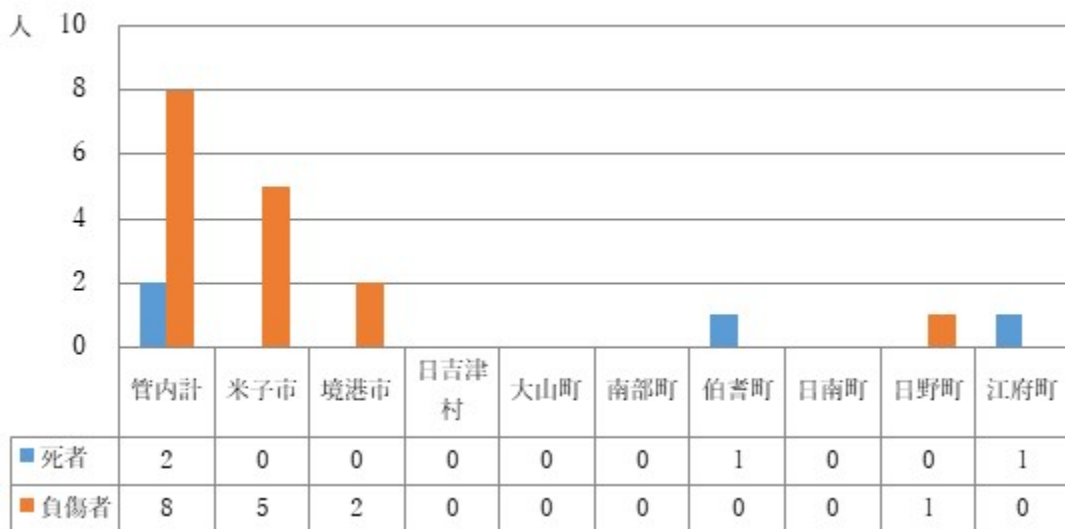


7 死者・負傷者について

死者は2人発生し、負傷者は前年より1人減少し8人となっています。

(図I-6参照)

図I-6 市町村別死傷者状況



別表1 月別火災発生状況

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

	合計		建物火災		林野火災		車両火災		船舶火災		その他火災		焼損棟数				り災世帯				死者	負傷者 30日以内死亡		
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計	全	半			り災人員	
1月	4	14,119	4	14,119	458								8	3		1	4	2	2		4	1		
2月	9	1,503	8	1,503							1		8			3	5	3			3	9	1	
3月	10	20,833	5	20,628	271		3	205			2		9	4	1	2	2	1			1	2	4	
4月	12	1,599	4	1,599	21						8		4		1		3	2		1	4	1		
5月	22	10,634	3	10,540	495	1	1	51			17	43	4	2	1	1						1	1	
6月	8	10,894	2	10,696	255		1	195			5	3	3	2			1	2	1		7	1		
合計	65	59,582	26	59,085	1,500	1	5	451			33	46	36	11	3	7	15	10	3	1	6	26	2	8

II 救急概況

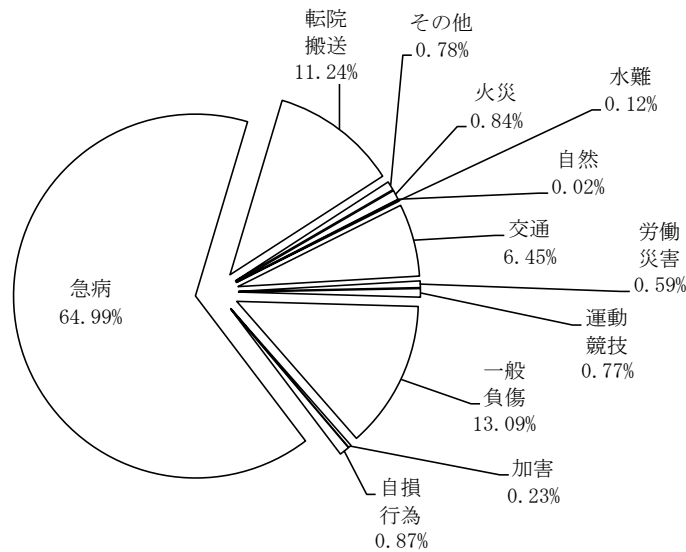
(2019年 1月～6月)

1 救急出動状況、救急搬送状況

2019年上半期の救急出動件数及び救急搬送人員は、それぞれ5,613件、5,211人であり、前年同期と比べて救急出動件数は85件(1.5%)の減少、救急搬送人員は117人(2.2%)の減少となりました。

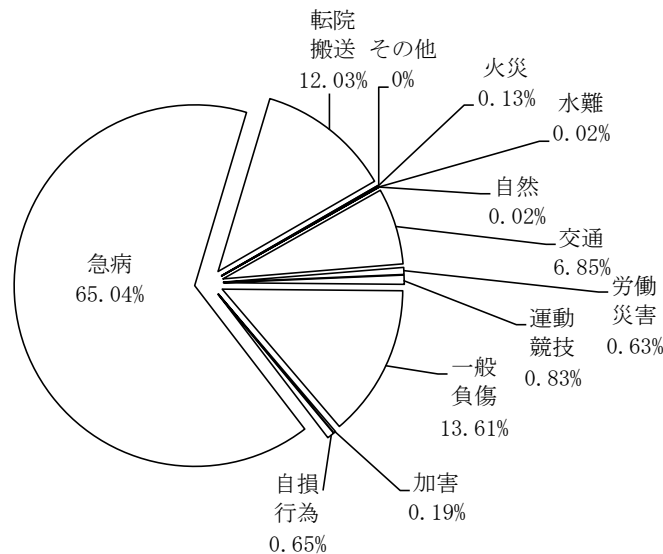
(図II-1、II-2、II-3参照)

図II-1 事故種別救急出動状況



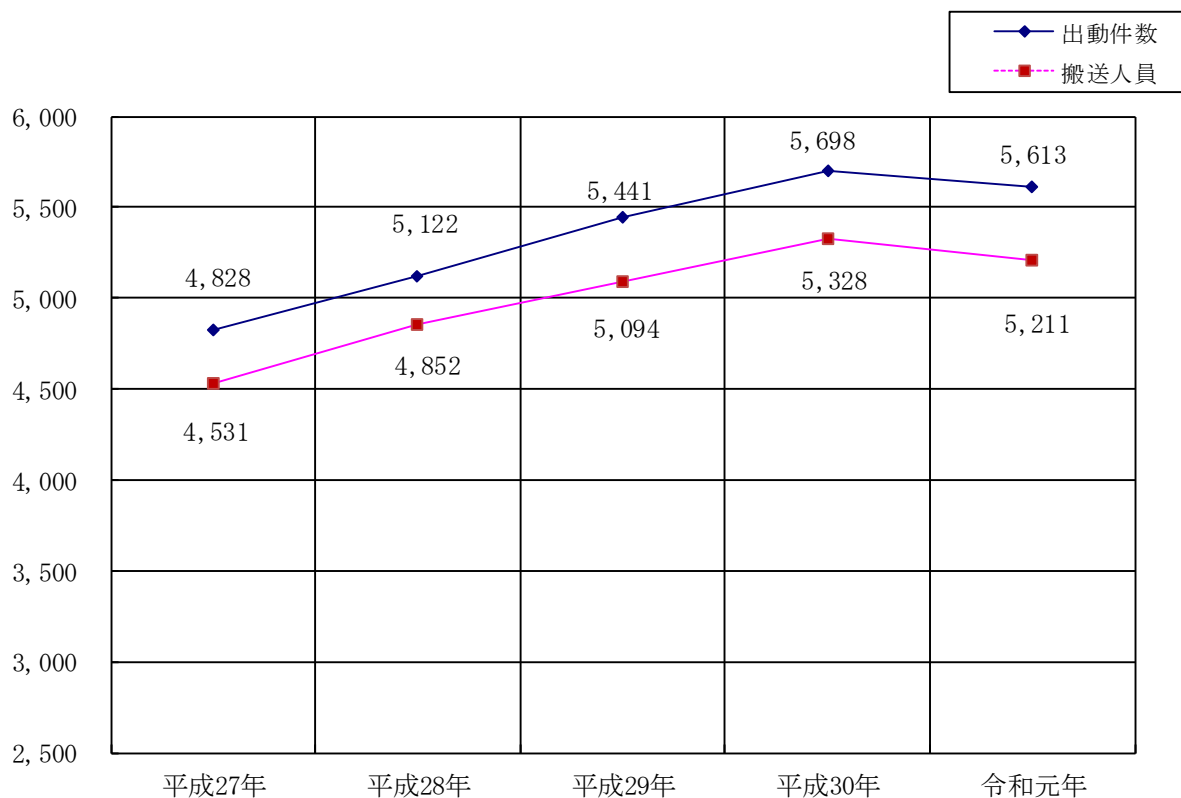
事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
出場件数	47	1	7	362	33	43	735	13	49	3,648	631	44	5,613

図II-2 事故種別救急搬送状況



事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
搬送人員	7	1	1	357	33	43	709	10	34	3,389	627	0	5,211

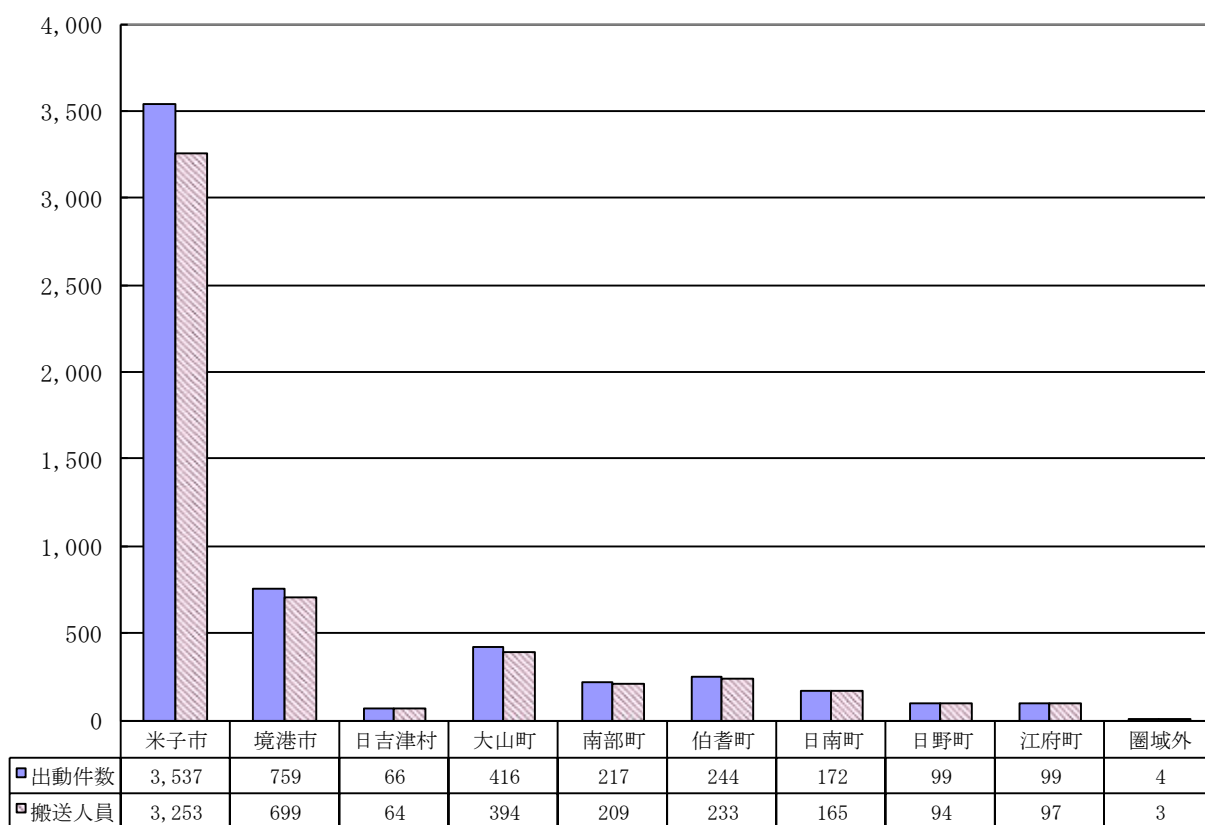
図Ⅱ－３ 過去５年間の救急推移



2 市町村別救急活動状況

市町村別では、米子市の救急出動件数及び救急搬送人員がそれぞれ3,537件(63.0%)、3,253人(62.4%)と6割以上を占めています。(図Ⅱ－4参照)

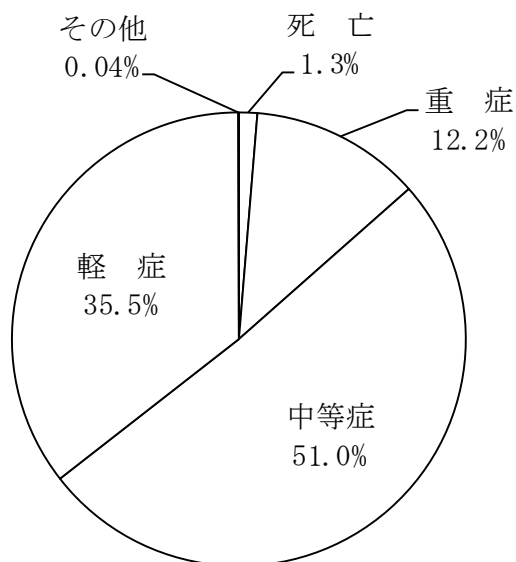
図Ⅱ－４ 市町村別救急活動状況



3 傷病程度別搬送状況

傷病程度別の搬送人員を見ると、中等症が2,657人(51.0%)で最も多く、次いで軽症が1,850人(35.5%)、重症634人(12.2%)、死亡68人(1.3%)となっています。(図Ⅱ-5参照)

図Ⅱ-5 傷病程度別搬送状況

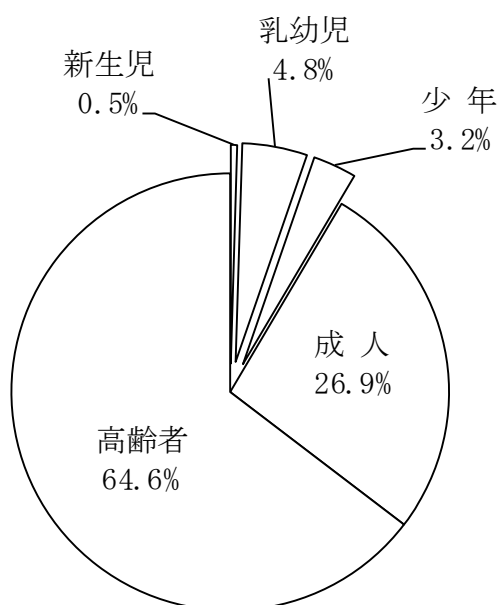


程 度	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
搬送人員	68	634	2,657	1,850	2	5,211

4 年齢別搬送状況

年齢別の搬送人員のうち、65歳以上の高齢者は3,367人(64.6%)で搬送人員の6割以上を占めています。(図Ⅱ-6参照)

図Ⅱ-6 年齢別搬送状況

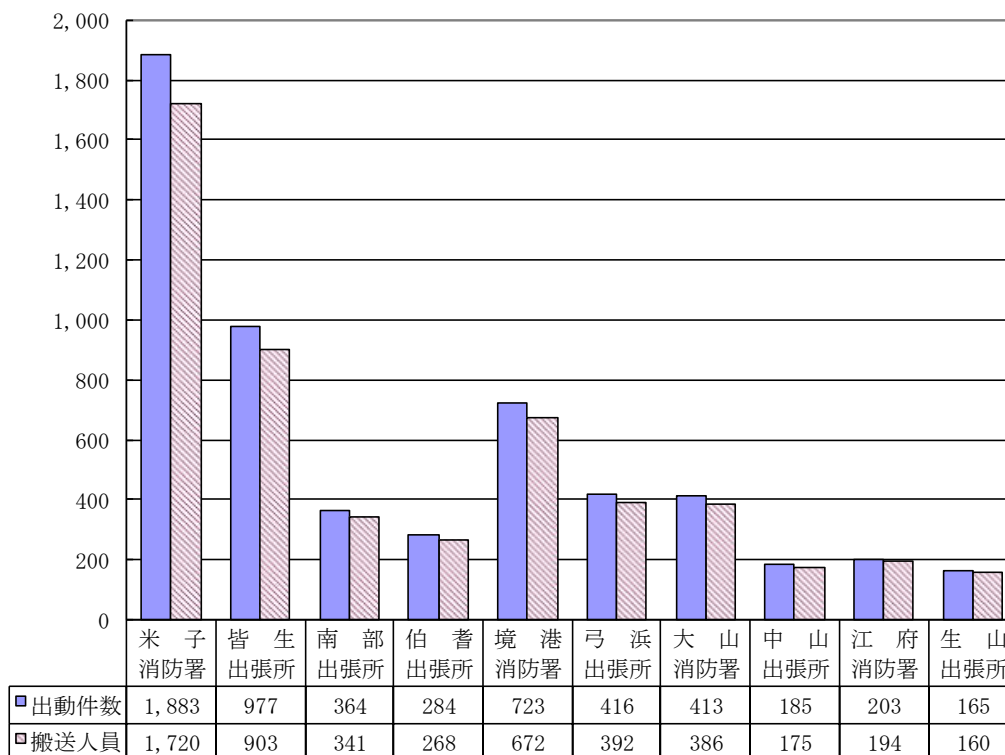


	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合 計
搬送人員	25	250	168	1,401	3,367	5,211

5 署所別救急活動状況

署所別の救急出動件数、救急搬送人員ともに米子市を管轄する米子消防署が（1, 883件、1, 720人）、皆生出張所が（977件、903人）で全救急出場の半数以上を占めています。（図Ⅱ－7参照）

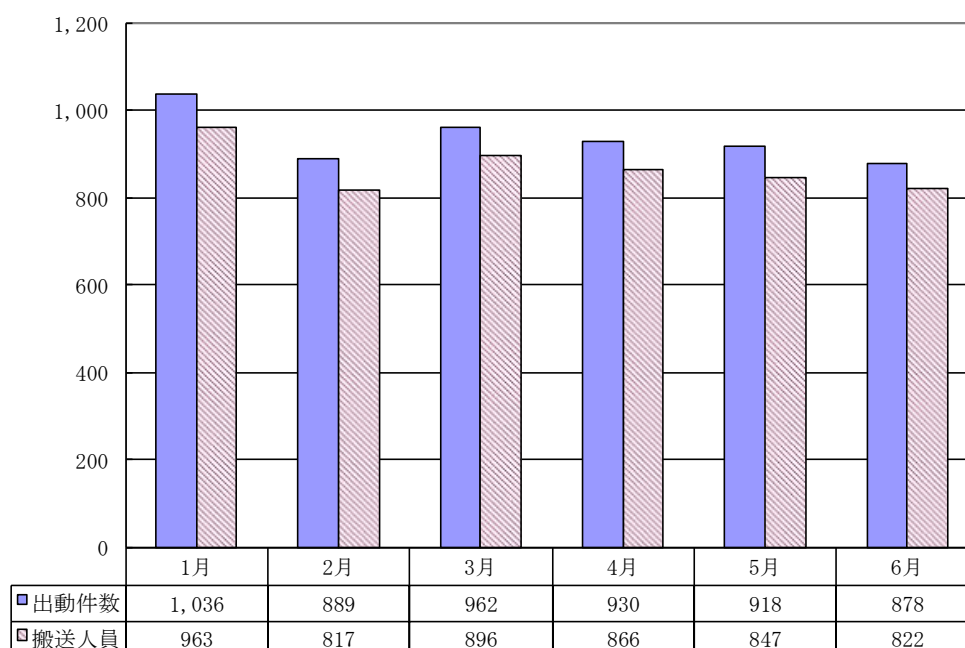
図Ⅱ－7 署所別救急活動状況



6 月別救急活動状況

月別の救急出動件数を見ると、1月の1, 036件（18.5%）が最も多く、次いで3月、4月の順となっています。（図Ⅱ－8参照）

図Ⅱ－8 月別救急活動状況

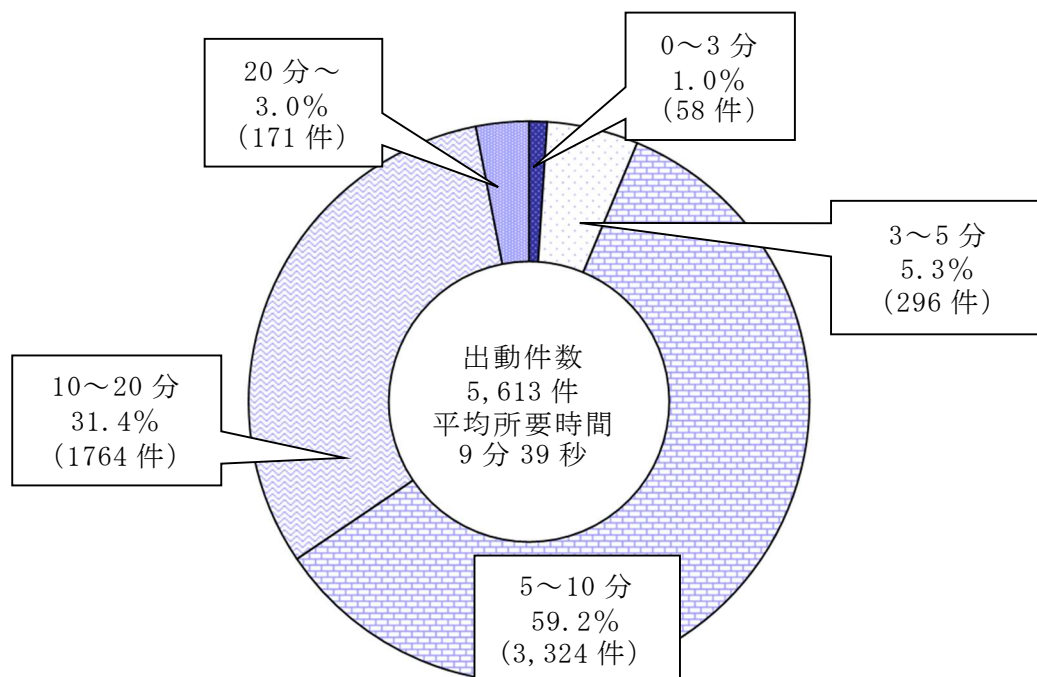


7 現場到着所要時間、収容所要時間

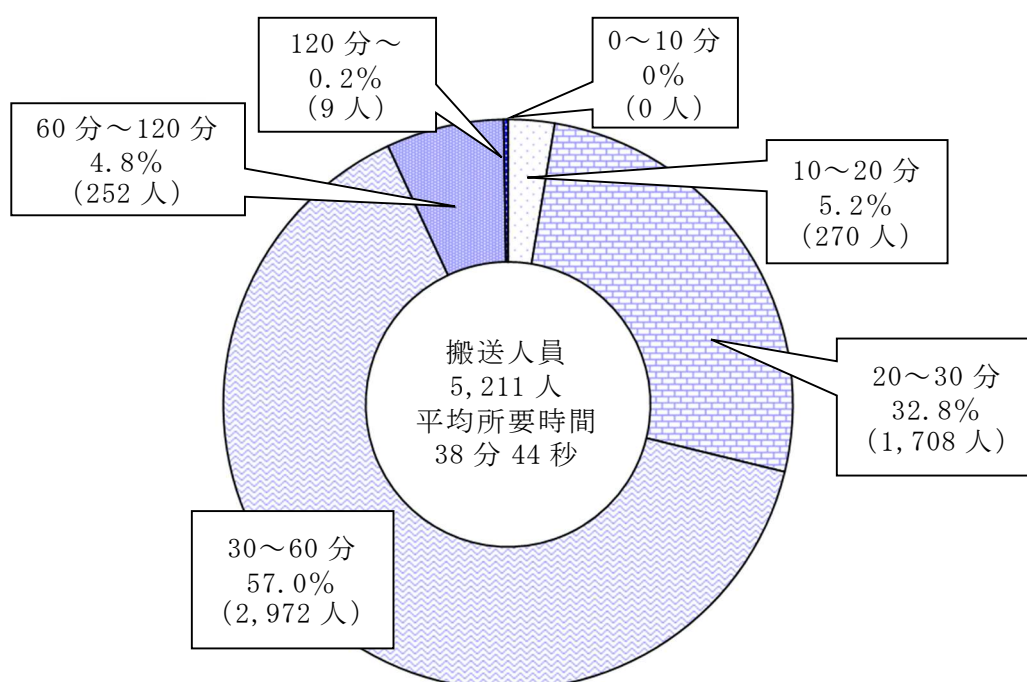
平均現場到着所要時間は9分39秒、平均収容所要時間は38分44秒であり、前年同期と比べて平均現場到着所要時間は1分18秒増加、平均収容所要時間は40秒増加となりました。

各所要時間の延長は、覚知時間が119通報の受付時分に変更されたことによるものです。
(別図Ⅱ-9、Ⅱ-10参照)

図Ⅱ-9 現場到着所要時間



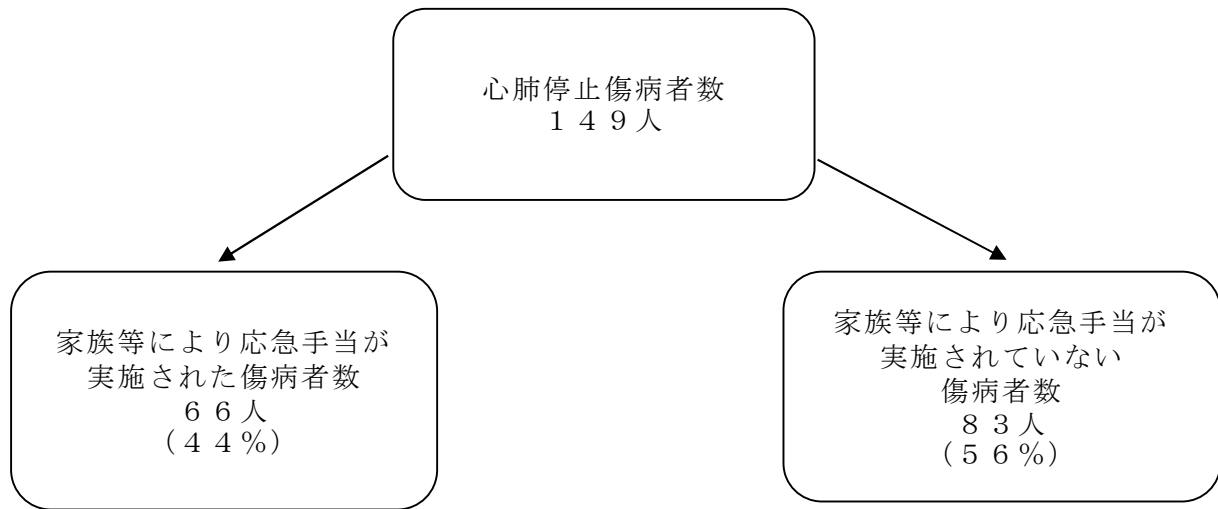
図Ⅱ-10 収容所要時間



8 応急手当実施状況

家族等により応急手当が実施された件数は66人（44.3%）となり、昨年より2%減少しました。（図Ⅱ-11参照）

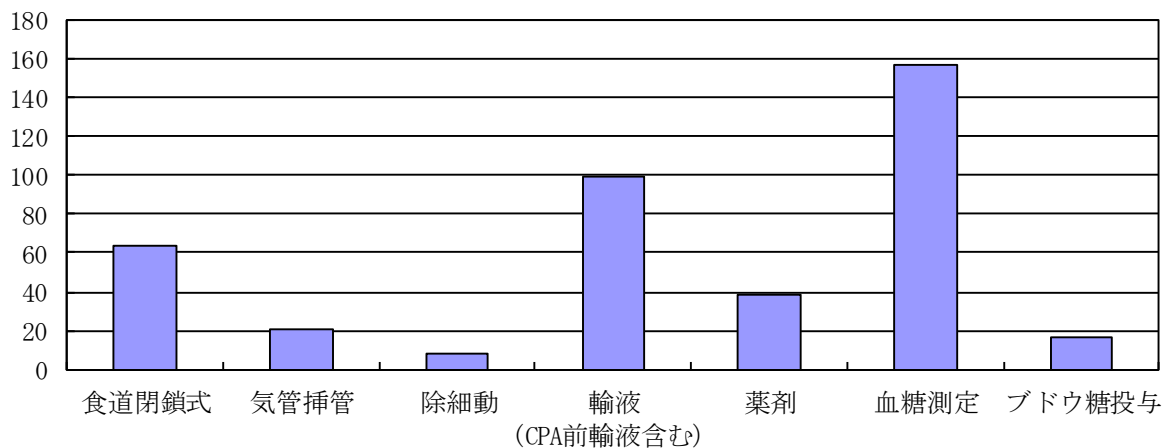
図Ⅱ-11 応急手当実施状況



9 高度救命処置件数

救急救命処置項目の拡大、認定救急救命士の増加により、高度救命処置件数は増加しています。（図Ⅱ-12参照）

図Ⅱ-12 高度救命処置件数

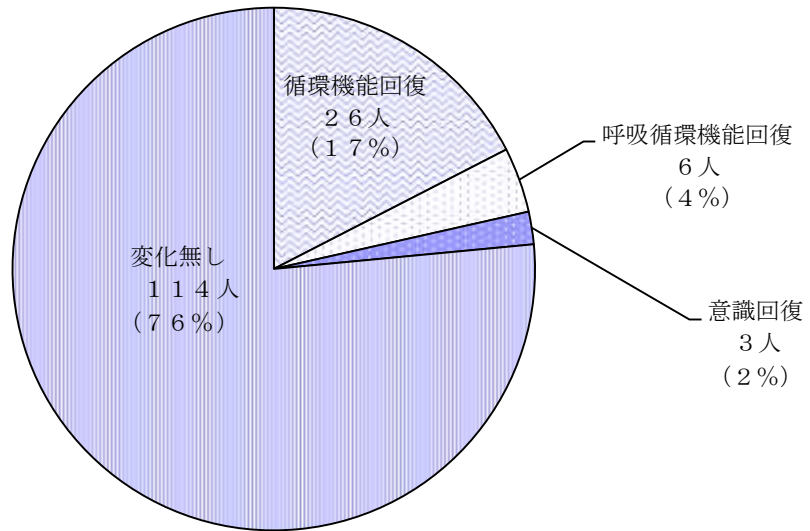


処置項目	食道閉鎖式	気管挿管	除細動	輸液 (CPA前輸液含む)	薬剤	血糖測定	ブドウ糖投与
実施件数	64	21	8	99	39	157	17

10 医師引継ぎ時の状況

心肺停止傷病者149人のうち、救急車で搬送中に26の方が循環機能回復、6の方が呼吸循環機能回復、3の方が意識回復まで至りました。
(図Ⅱ-13参照)

図Ⅱ-13 医師引き継ぎ時の状況



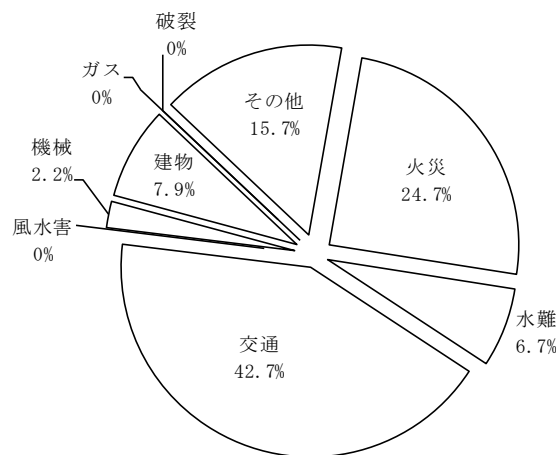
Ⅲ 救助概況

(2019年1月～6月)

1 事故種別救助出動状況

2019年上半期の救助出動件数は89件あり、そのうち交通事故が38件(42.7%)、火災が22件(24.7%)、その他の事故が14件(15.7%)、建物等による事故が7件(7.9%)、水難事故が6件(6.7%)、機械による事故が2件(2.2%)の順となっています。(図Ⅲ-1参照)

図Ⅲ-1 事故種別救助出動状況

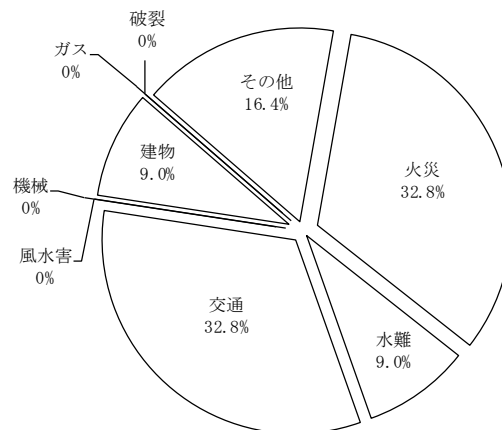


事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
出場件数	22	6	38	0	2	7	0	0	14	89

2 事故種別救助活動状況

救助活動件数は67件あり、そのうち交通事故が22件(32.8%)、火災が22件(32.8%)、その他の事故が11件(16.4%)、建物等による事故が6件(9.0%)、水難事故が6件(9.0%)、の順となっています。(図Ⅲ-2参照)

図Ⅲ-2 事故種別救助活動状況

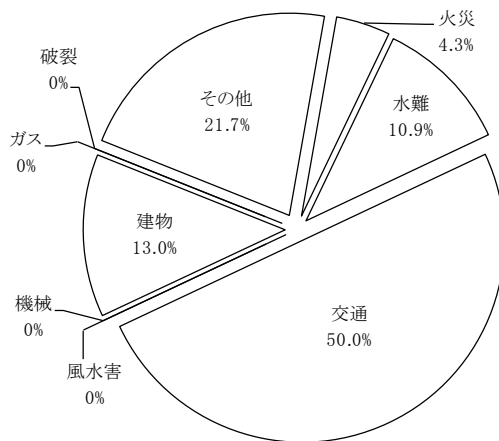


事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
活動件数	22	6	22	0	0	6	0	0	11	67

3 事故種別救助人員状況

救助活動により救助された人員は46人であり、そのうち交通事故が23人（50.0%）と最も多く、次いでその他の事故が10人（21.7%）、建物等による事故が6人（13.0%）、水難事故が5人（10.9%）、火災が2人（4.3%）、の順となっています。（図Ⅲ－3参照）

図Ⅲ－3 事故種別救助人員状況



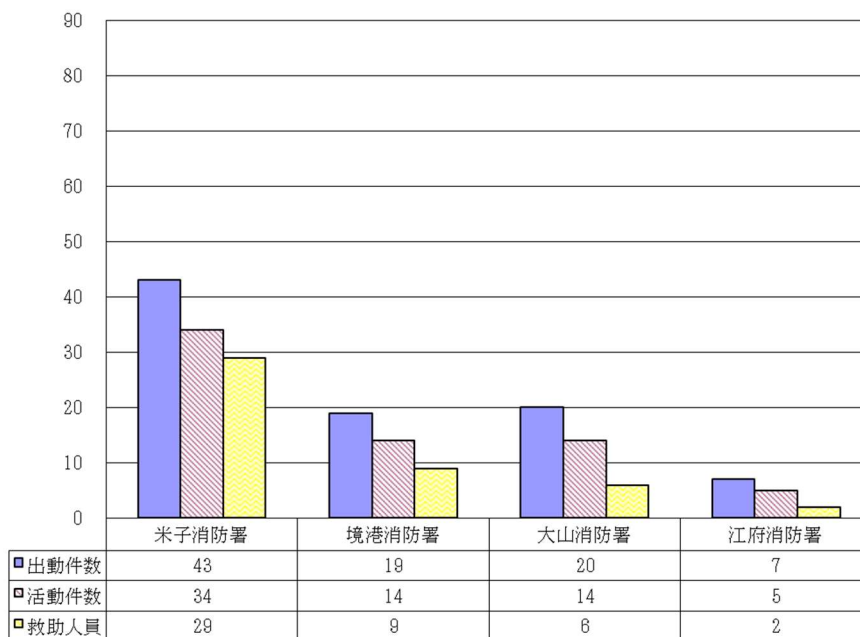
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
救助人員	2	5	23	0	0	6	0	0	10	46

4 管轄別救助活動状況

消防署の管轄別に出動件数を見ると、米子消防署が43件（48.3%）と最も多く、次いで大山消防署が20件（22.5%）、境港消防署が19件（21.3%）、江府消防署が7件（7.9%）の順となっています。

（図Ⅲ－4参照）

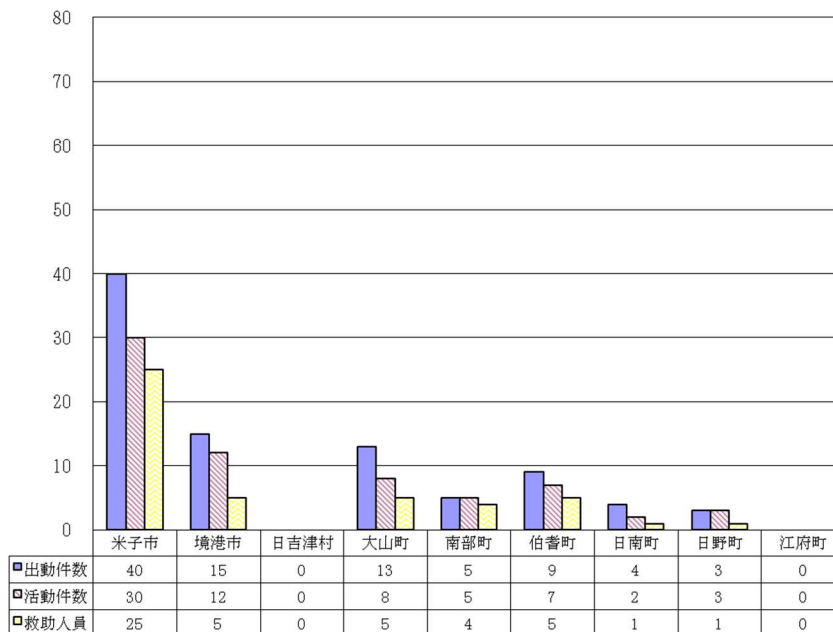
図Ⅲ－4 管轄別救助活動状況



5 市町村別救助活動状況

市町村別に救助活動状況を比較して見ると、出動件数、活動件数、救助人員ともに、米子市が最も多く出動件数40件（44.9%）、次いで境港市が15件（16.9%）、大山町が13件（14.6%）、伯耆町が9件（10.1%）等の順となっております。（図Ⅲ－5参照）

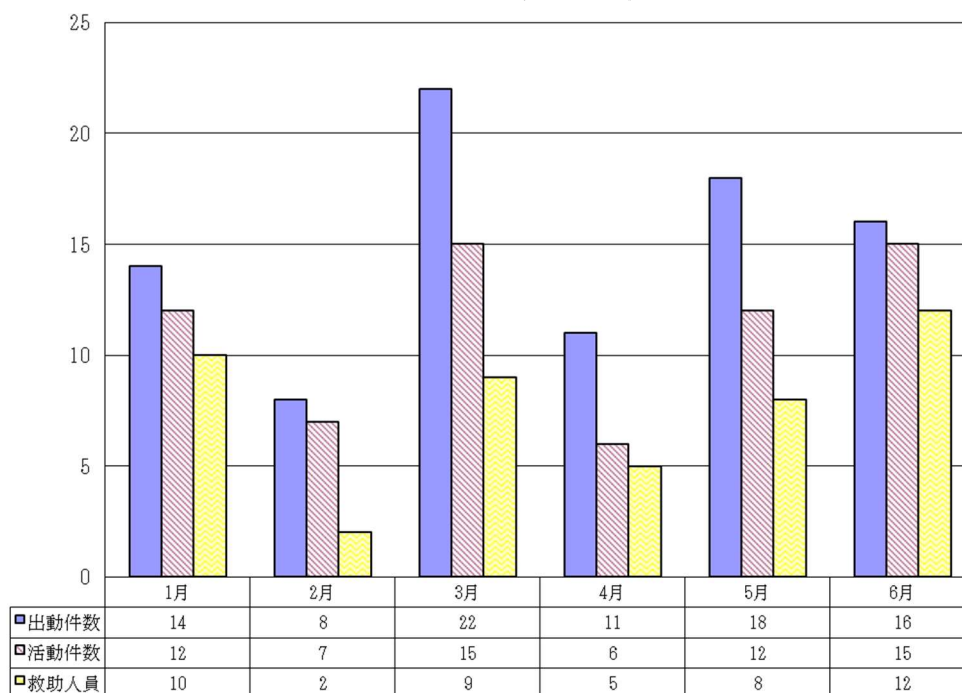
図Ⅲ－5 市町村別救助活動状況



6 月別救助活動状況

月別の救助出動件数を見ると、3月が22件（24.7%）と最も多く、次いで5月が18件（20.2%）、6月が16件（18.0%）、1月が14件（15.7%）等の順となっています。（図Ⅲ－6参照）

図Ⅲ－6 月別救助活動状況



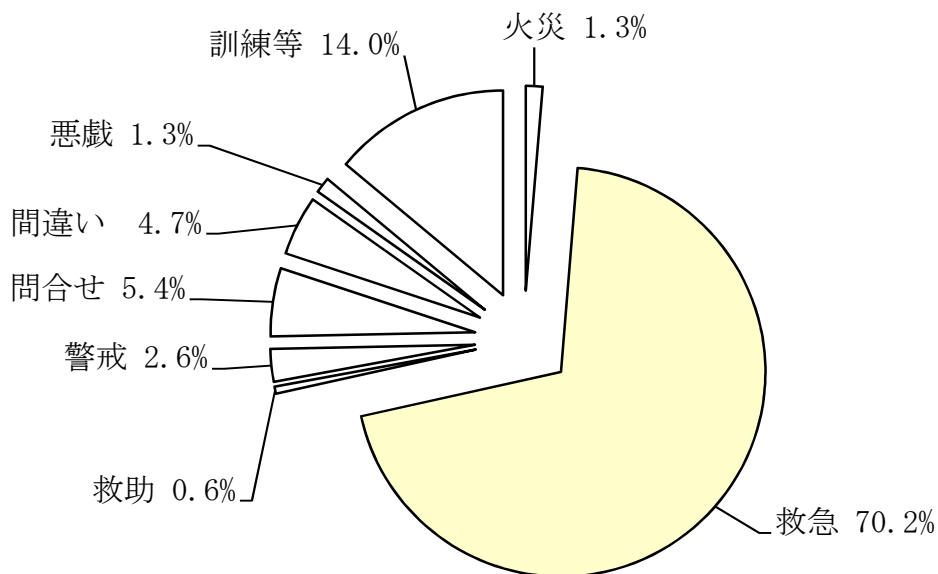
IV 119番着信概況

(2019年 1月～6月)

1 着信件数の概況

2019年上半期の119番通報は、総着信件数7,462件で去年同期より249件少なくなっています。1ヶ月平均にすると約1,243件、1日平均では約41件の着信となります。通報内容としては、火災は98件(1.3%)で、救急が最も多く5,239件(70.2%)でした。そのほかの通報としては、救助42件(0.6%)、警戒193件(2.6%)、休日・夜間などの病院に関する問い合わせ403件(5.4%)、間違い352件(4.7%)、悪戯と思われるものが94件(1.3%)、通報訓練等1,041件(14.0%)でした。(表IV-1参照)

表IV-1 着信件数内訳



火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
98	5,239	42	193	403	352	94	1,041	7,462

2 月別の119番着信状況

月別での着信件数の最も多かったのは3月の1,354件、逆に最も少なかったのは2月の1,164件でした。救急通報では、最も多かったのは1月の977件、逆に最も少なかったのは6月の827件で、月平均約873件でした。火災通報では、最も多かったのは5月の29件、逆に最も少なかったのは1月の8件で、月平均約16件でした。

(表IV-2参照)

表IV-2 月別119番着信状況

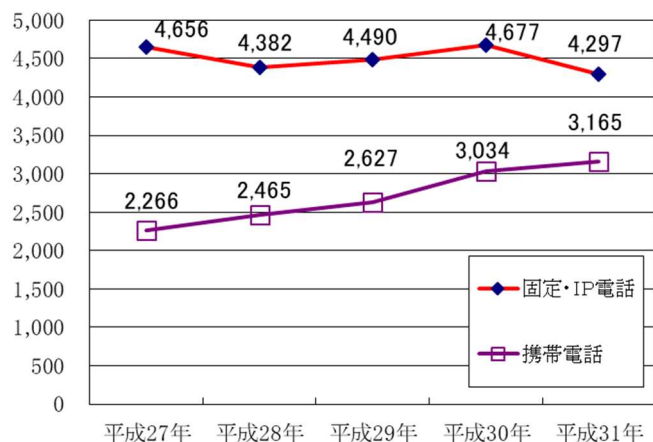
	火災	救急	救助	警戒等	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
1月	8	977	6	50	72	50	9	115	1,287
2月	12	837	1	39	45	64	18	148	1,164
3月	19	885	15	51	75	76	4	229	1,354
4月	11	873	2	23	77	44	40	164	1,234
5月	29	840	9	14	69	50	10	199	1,220
6月	19	827	9	16	65	68	13	186	1,203
合計	98	5,239	42	193	403	352	94	1,041	7,462
月平均	16.3	873.2	7.0	32.2	67.2	58.7	15.7	173.5	1,243.7

3 電話種別による119番着信状況

災害別の通報状況として、固定電話（IP電話含む）と携帯電話の比率では、火災、救助、警戒が救急に比べ携帯電話の比率が高くなっています。また、近年、固定電話のIP化が進み、IP電話による通報が増加傾向にあります。屋外で発生する交通事故や火災、たき火といった多くの人の目につきやすいものと、急病など屋内で発生することが多い救急との電話種別の違いが現れています。

(表IV-3、IV-4参照)

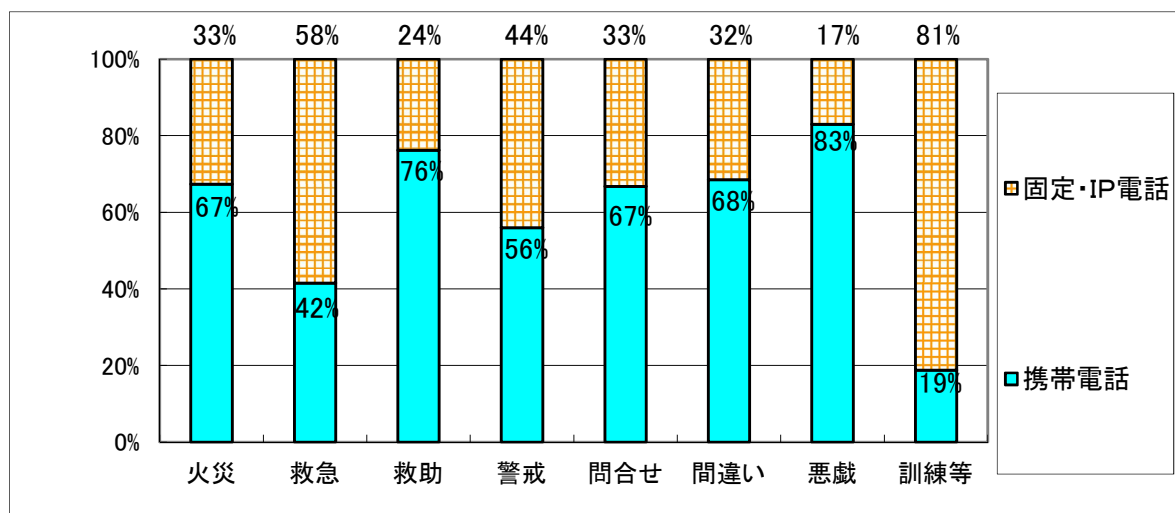
表IV-3 電話種別による119番着信件数の推移



	固定 IP電話	携帯電話	合計
平成27年	4,656	2,266	6,922
平成28年	4,382	2,465	6,847
平成29年	4,490	2,627	7,117
平成30年	4,677	3,034	7,711
2019年	4,297	3,165	7,462

表IV-4 電話種別による通報状況

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
固定・IP電話	32	3,063	10	85	134	111	16	846	4,297
携帯電話	66	2,176	32	108	269	241	78	195	3,165
合計	98	5,239	42	193	403	352	94	1,041	7,462



4 携帯電話からの着信状況

携帯電話からの119番通報は3,165件で、全着信件数の約42%でした。携帯電話で119番通報すると、その場所により必ずしも電話を掛けた地区を管轄する消防本部に接続されるとは限りません。管轄地区以外の通報が着信した場合には、その地区を管轄する消防本部に対し電話を転送し対応しています。これを携帯電話の消防機関別転送処理状況として、表IV-6に表しています。上半期の他の消防機関への転送処理件数は32件でした。(表IV-3、IV-4、IV-5、IV-6参照)

表IV-5 携帯電話からの着信状況

西部消防圏域内の災害などの着信件数			他の消防機関に転送をした件数
直接通報を受けた件数	他の消防機関から転送受信した件数	総着信件数	
3,144	21	3,165	32

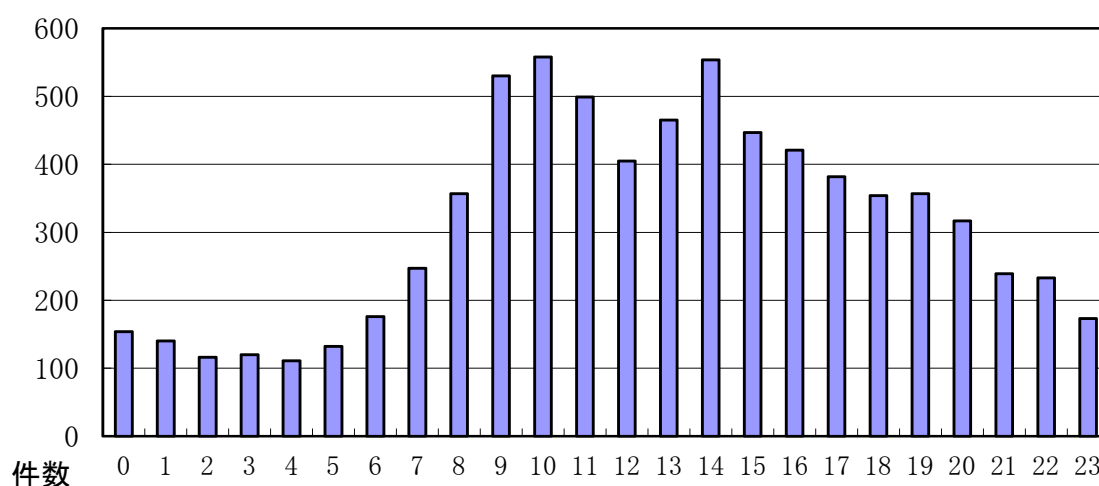
表IV－6 携帯電話の消防機関別転送状況

他の消防機関から転送を受信した件数					他の消防機関に転送した件数				
消防	火災	救急	その他	合計	消防	火災	救急	その他	合計
松江	1	5	0	6	松江	2	13	1	16
安来	0	10	1	11	安来	2	6	0	8
東部	0	0	1	1	東部	0	1	0	1
中部	0	2	1	3	中部	0	1	2	3
新見	0	0	0	0	新見	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	その他	0	4	0	4
合計	1	17	3	21	合計	4	25	3	32

5 時間帯別119番通報の着信状況

時間帯別119番通報の着信件数は、活動時間帯(午前8時～午後8時)に大半を占めており、睡眠時間帯(午後10時～午前7時)では午前4時台まで時間の経過とともに件数が少なくなっています。(図IV－1参照)

図IV－1 時間帯別着信状況



ひとつずつ いいね！で確認 火の用心

令和元年度全国統一防火標語

火災情報テレホンガイド 0859-22-0119

防火・救急に関するご相談・お問い合わせ

お気軽に最寄りの消防署へどうぞ

名 称	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
消 防 局	米子市両三柳5452番地	683-0853	0859-35-1951
米子消防署	米子市富士見町一丁目103番地1	683-0055	0859-39-0251
米子消防署皆生出張所	米子市上福原313番地1	683-0004	0859-39-0253
米子消防署南部出張所	西伯郡南部町清水川3番地1	683-0321	0859-39-6003
米子消防署伯耆出張所	西伯郡伯耆町溝口20番地4	689-4201	0859-39-9001
境港消防署	境港市中野町2116番地	684-0041	0859-47-0119
境港消防署弓浜出張所	米子市大篠津町2913番地1	683-0101	0859-48-2005
大山消防署	西伯郡大山町末吉403番地2	689-3331	0859-39-5002
大山消防署中山出張所	西伯郡大山町長野880番地3	689-3136	0858-49-3001
江府消防署	日野郡江府町武庫1390番地3	689-4411	0859-77-2001
江府消防署生山出張所	日野郡日南町生山349番地1	689-5211	0859-77-1001

※本概況に関するお問い合わせは下記にお願いします。

火災…………… 予防課予防係	0859-35-1954
救助…………… 警防課消防第一係	0859-35-1959
救急…………… 警防課救急室	0859-35-1958
119番着信状況…指令課指令係	0859-35-1960

令和元年8月発行

〒683-0853 米子市両三柳5452番地

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

TEL 0859-35-1951(代)